

I N F O R M A T I O N

■ 本学関係者による展覧会情報

- ・加藤明子／造形基礎
『加藤明子展』 10月13日(火)～10月18日(日) ギャラリーマロニエ(京都)
- ・高田由紀子／造形基礎
『文化書道展』 9月19日(土)～9月20日(日) 尼崎総合文化センター(兵庫)
- ・宇野和幸／油画
『個展』 7月20日(月・祝)～7月25日(土) 巷房(東京)
『個展』 9月18日(金)～10月7日(水) ギャラリー睦(千葉)
『アートカクテル2009 in KASAMA』 10月10日(土)～10月24日(土) ギャラリー桜、笠間市各所(茨城)
『講演会「アートを学ぶー嵯峨芸・多摩美・女子美」』 10月24日(土) 13:00～ 茨城県立笠間高校(茨城)
- ・入佐美南子／油画
『二科展』 9月2日(水)～9月14日(月) 国立新美術館(東京)
『二科京都支部展』 6月16日(火)～6月19日(金) 京都市美術館(京都)
- ・堀井聡／油画
『個展』 10月1日(木)～10月14日(水) 梅田画廊(大阪)
- ・中野庸二／油画
『6月の風』 6月9日(火)～6月21日(日) ギャラリーa(京都)
- ・長谷川一郎／油画
『長谷川一郎展"give me your mayonnaise"』 6月29日(月)～7月18日(土) Gallery Den 58(大阪)
- ・猪熊佳子／日本画
『猪熊佳子展』 6月10日(水)～6月15日(月) 日本橋三越(東京)
- ・島田理恵／日本画
『京都日本画家協会選抜展』 7月15日(水)～7月20日(月・祝) 京都文化博物館(京都)
- ・前田恭子／日本画
『華展ー日本画三人展ー』 5月29日(金)～6月6日(土) 川田画廊(兵庫)
- ・日野田崇／陶芸
『Breaking the Mold : Contemporary Chinese and Japanese Ceramic Sculpture』 4月24日(金)～9月27日(日) The Denno Museum Center(アメリカ)
『Fragiles - Porcelain, Glass & Ceramics』 6月7日(日)～7月5日(日) Al-Sabah Art & Design Collection(クウェート)
- ・吉水絹代／染織
『テキスタイルミーティング2009展』 8月29日(土)～9月9日(水) 元立誠小学校(京都)
- ・吉水絹代・兼先恵子／染織
『日本新工芸展』 7月7日(火)～7月12日(日) 京都市美術館(京都)
- ・吉水絹代・大住由季／染織
『テキスタイル未来形2009』 7月2日(木)～7月7日(火) 福岡アジア美術館(福岡)
- ・吉引ありさ／染織
『個展』 6月23日(火)～7月5日(日) ギャラリー恵風(京都)
- ・加賀城健／染織
『加賀城健展』 6月27日(土)～7月11日(土) Gallery Gallery(京都)
『ArtCloth : Engaging New Visions』 8月29日(土)～10月11日(日) Fairfield City Museum & Gallery(オーストラリア)
- ・斉藤高志／染織
『個展』 7月7日(火)～7月19日(日) 画廊ぶらんしゅ(大阪)
『個展』 9月15日(火)～9月27日(日) アートライフみつはし(京都)

■ 京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

京都嵯峨芸術大学公式サイトにて
最新の大学情報をご覧くださいませ。
<PC> <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

こちらのQRコードを使って、
携帯サイトにアクセスする
ことも出来ます。



■ 大学行事予定

連続公開講座 「京の美意識」スケジュール

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知恵や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています(参加無料)。また、過去の講演録も販売しています(一冊千円)。

新型インフルエンザのため中止(5月23日)となりました講座を第47回に日程を変更して開催いたします。なお、当初予定の講座「自然を内包する京の感性(講師:井上隆雄氏)」は都合により中止いたします。

○第44回6月27日(土)
「日本の色ー京の彩り」
吉岡幸雄(染織史家)

○第45回9月26日(土)
「京商家の食文化に学ぶこと」
杉本節子(財)奈良屋記念杉本家保存会事務局長・料理研究家)

○第46回10月24日(土)
「宗教建造物装飾彩色の美」
仲政明(本学准教授)

○第47回11月21日(土)
「京都の時代劇映画考」
山内鉄也(映画監督)

○第48回12月19日(土)
「京真田紐の秘密と使い方」
和田伊三男(京真田紐師)

○第49回2月20日(土)
「神主残酷物語」
佐々木俊輔(平岡八幡宮宮司)

○第50回3月13日(土)
「嵯峨鳥居本と平野屋の歩み」
井上典子(平野屋女将)

※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて(参加無料)。お申込み・お問合せは文化事業部まで。TEL.075-864-7898

京都嵯峨芸術大学広報

第 29 号

2009年6月12日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 総務部 広報室
発行●学校法人大覚寺学園京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7859
FAX.075-881-7133
info@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨 芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

VOL.29

JUNE
2009

Contribution

京都嵯峨芸術大学 附属博物館
これまでの取り組みと今後の展望について
博物館 アートスペース嵯峨 運営委員会



News

理事会報告 2008(平成20)年度 収支決算報告/2009(平成21)年度 予算編成基本方針・収支予算書

大 学 報 告 2008年度進路概況/入学宣誓式報告/オープンキャンパス情報/入試説明会シーズン到来/2010年度大学案内発行/大覚寺オリエンテーション

Topics

教員・在学生の活躍

本学観光デザイン学科の学生がNHKグッズコンペで優秀賞を受賞/本学教員のテレビ番組出演

博物館・ギャラリー報告

インフォメーション

附属博物館/附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール予定



Information

本学関係者による展覧会情報

連続公開講座「京の美意識」



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

京都嵯峨芸術大学附属博物館 これまでの取り組みと今後の展望について

博物館アールスペース嵯峨運営委員会

Contribution



設立

附属博物館は、平成13年、京都嵯峨芸術大学設立を機に、その附属施設として設置、同年11月に本部キャンパスF棟(研究棟)1階部分に建設されました。京都府より博物館相当施設の認可を受けている本館は、①学生の創作意欲を刺激する、②大学を地域の人々に開放し多くの人々との交流を深める、③学芸員養成のための博物館実習を行なう場として開館し、今年で9年目を迎えます。

収蔵品

主な収蔵品は、大学で教鞭を執られていた先生方の作品、版画作品、郷土玩具、貿易扇等で、本学前身の嵯峨美術短期大学時代から蒐集された資料が多数あります。中でも郷土玩具は、本学に縁のある故浅見素石先生、故林司馬先生からご寄贈いただいた資料をはじめとした、2,000点以上にもおよぶ希少な資料です。また数千点を所蔵する貿易扇の扇面画は、明治・大正時代、主に京都で作られ、欧州を中心に多くの国に輸出されていた歴史を持ち、他ではなかなか観ることの出来ない貴重な資料といえます。

展覧会履歴

博物館では、昨年度までに30件近くの展覧会を開催しました。本学収蔵品の展示を中心に、本学教員・研究室の展示、嵯峨面などの民芸品を有する嵯峨地域に伝わる文化の展示、卒業生の展示等多岐にわたっています。平成20年度に開催した展覧会の中には、本学開催の連続公開講座「京の美意識」と連動させた展覧会もあり、広く一般の方々にもご来館いただきました。

地域連携

「嵯峨大念仏狂言展」(平成21年度)の開催に向けた保存会の方々との交流や、嵐山小学校の児童・保護者などを対象に行なったワークショップ開催など、地域に密着した博物館としての活動も行っています。今後も、様々な活動を通して、より地域の方に親しんでいただける博物館を目指します。

文化財保存

同じ大学附属の展示施設であるギャラリーよりも、博物館では、展示をすることで作品にかかるストレスを少しでもおさえる努力をしています。展示中も、作品が外気の影響を直接受けないようにガラスケースに入れる、調湿剤を置き一定湿度に保つ、作品の色の変化などを防ぐため明るさをおとす(作品に悪影響を及ぼす紫外線カット電灯を使用)など行なっています。また、収蔵品は、博物館に併設する収蔵庫(24時間温湿度管理)で保管されています。このように博物館では、受け継がれ、残ってきた作品や資料を後世に繋いでいく使命をもっています。

今後のありかた

年間展示できる作品数は限られています。そこで、いつでも見られるよう、収蔵されている資料情報を公開し、広く活用できるようにと考えています。収蔵品集の作成、学内からネットを使い自由に閲覧できるようアーカイブを整理するなどの事業を進めています。

今後は、「京都嵯峨芸術大学の先人達」に代表されるような連続企画の継続や、収蔵品をさらに活用した展示を行っていく予定です。

最後に

学生には、この学生時代に様々な作品を鑑賞する場を多く体験することで、幅広い視野を身につけ、自己の創作意欲を確かなものにして欲しいと願っています。自分達の身近に、大学附属博物館にそれはあるかもしれません。

嵯峨大念仏狂言展

本館では、きたる学園創立40周年に向けていくつかの連続企画を計画していますが、それらの中であらたな柱のひとつとなろうとしているのが、本年5月16日~31日の期間に開催された「嵯峨大念仏狂言展」です。

これは、嵯峨野の古刹・清凉寺(釈迦堂)の境内で行われる嵯峨大念仏狂言を、芸能史・工芸史・仏教史・民俗学などの多角的な視点から位置づけようとするものです。平安末に誕生した融通念仏を遠い祖先とするこの狂言は、1986年に国の重要無形民俗文化財に指定されていますが、いまだに体系的な調査報告が存在していません。嵯峨の地に数百年の時を超えて息づいている文化財を調査し、そのあらたな価値づけをおこなうことは、右京区唯一の芸術大学としての、また地域の博物館のひとつとしての責務です。

この展覧会の開催にあたっては、版画分野で写真を表現手段として制作している大学院生・学部生の協力を得ながら、採寸・撮影・保存状態などの調査を行いました。本学では工芸史や民俗学の分野に必ずしも十分なスタッフがいるわけではないのですが、このように持てる力を有効に活用すれば、教育的な効果を持たせつつ他大学とは違った特色ある調査研究ができると考えます。今後も、学外の専門家などとも協力しつつ、調査から展示へという一連の活動を行っていきたいと考えています。

さいわいにも本展は学内外の反応も良く、また関連のワークショップも開催して、実際にこの狂言の実態を体験することもできました。「生きている文化遺産」の伝承・保存のあり方のひとつとして、「体験」は重要な位置をしめます。展覧会というものの意味を考える上でも、本館としてこの活動は大切にしていきたいものです。



京都嵯峨芸術大学附属博物館 京の人形師 (写真: 長瀬 昭雄氏より提供)



過去の展覧会



理事会報告

2008(平成20)年度収支決算報告

大学は、学生から納付された授業料等の学納金と国庫補助金を大きな収入源としており、その他、種々の手数料や寄付金を加えて、学生の教育や課外活動、教員の研究活動、地域社会との連繋事業等にかかる経費を賄っています。また、新しい学科のための施設や設備のために投資したり、将来に向けての積立を行ったりします。既にご存知の通り、少子化による学生数減少という厳しい環境に、100年に一度といわれる経済不況が重なり、学生や大学を取り巻く経済環境は大変厳しい状況にあります。しかし、本学としては、このような状況の中でも、大学を永続的に維持発展させていくため、できるかぎりの努力をしています。その概要を大学のステークホルダーの皆さんにご説明いたします。

資金収支計算書は、1年間の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と資金の顛末を表す計算書です。消費収支計算書は1年間の学校の消費収入と消費支出の内容と均衡の状態を明らかにするもので、企業会計でいう損益計算書にあ

ります。大学は利益を追求する営利団体ではないので、利益を出す必要はありませんが、収支のバランスの取れた安定した経営が望まれます。貸借対照表は、年度末の資産と負債、正味財産の状況を示しています。

消費収支計算書の消費収入の部は、資金収支計算書の学生生徒等納付金収入から雑収入までとほぼ同じで、現物寄付金を寄付金収入に加えたものです。借入金等を含まず、学校法人の負債とならない収入という意味で帰属収入といえます。施設設備の充実にあつては、基本金を予め帰属収入から差し引いた残りを、大学が1年間の消費に当てられる収入として消費収入といえます。一方、消費収支計算書の消費支出の部は、資金収支計算書の人件費から借入金等利息までとほぼ同じで、教育研究経費と管理経費にそれぞれ過去に購入した建物や機器備品の減価償却額を経費として加えています。その他、古くなった資産を処分したことによる費用や徴収不能引当金への繰入額を計上

しています。

さて、昨年度は、2007年度に開設した芸術学部メディアデザイン学科が丸2年を経過したため、実習B棟2階に3・4回生用の実習室を設置し、新たなPCなど教育機器を導入しました。また、老朽化した本部キャンパスの整備に当たり、専門業者との契約のもと、コンストラクションマネジメントのコンサルテーションを受けました。さらに、昨年中国四川省の大地震を教訓に、政府が平成27年度までに学校施設の耐震工事を大幅に進めるとの公約のもと、本学としてもまずは状況を把握するため、本年1月から旧建築基準で建てられた実習A棟、実習B棟、講堂C棟について耐震診断を実施しました。これら例年にない事業を実施しましたが、人件費や他の諸経費の節約などに努め、約19億17百万円の帰属収入に対し、消費支出は18億72百万円となりました。帰属収入から75百万円の基本金繰入を差し引いた消費収入18億42百万円に対しては、3千万円の赤字となりました。

年度末の資産と負債等の状況は、貸借対照表の通り、96億11百万円の資産を有し、そのうち負債は18億33百万円で、正味財産は77億78百万円となっています。負債のうち、借入金は4億74百万円で、計画通り返済を進めています。

2011年に開学後満40年を迎えるにあたり、近々出される耐震診断の結果を踏まえ、安全で快適な学習空間を実現すべく、新たな校舎改修計画に取り組んでまいります。

<貸借対照表>
2009年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金額	科 目	金額
固定資産	7,593,294	固定負債	1,110,234
流動資産	2,018,398	流動負債	723,175
資産の部合計	9,611,692	負債の部合計	1,833,409
		基本金	10,595,798
		消費収支差額	△ 2,817,515
		負債・基本金・消費収支差額の部合計	9,611,692

<資金収支計算書>
2008年4月1日～2009年3月31日 (単位:千円)

収入の部			
科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,544,228	1,545,150	△ 922
手数料収入	26,551	24,990	1,561
寄付金収入	3,930	3,530	400
補助金収入	151,305	172,499	△ 21,194
資産運用収入	4,849	6,609	△ 1,760
事業収入	24,179	25,194	△ 1,015
雑収入	134,871	133,980	891
前受金収入	571,200	594,469	△ 23,269
その他の収入	126,364	127,718	△ 1,354
資金収入調整勘定	△ 810,008	△ 808,992	△ 1,015
前年度繰越支払資金	1,779,846	1,779,846	
収入の部合計	3,557,315	3,604,993	△ 47,678
支出の部			
科 目	予算	決算	差異
人件費支出	1,193,123	1,192,522	601
教育研究経費支出	337,610	321,797	15,813
管理経費支出	150,882	146,539	4,343
借入金等利息支出	7,939	7,938	1
借入金等返済支出	46,656	46,656	0
施設関係支出	3,805	2,795	1,010
設備関係支出	25,987	23,098	2,889
その他の支出	48,274	44,969	3,305
〔予備費〕	20,000		20,000
資金支出調整勘定	△ 45,301	△ 43,674	△ 1,627
次年度繰越支払資金	1,768,340	1,862,353	△ 94,013
支出の部合計	3,557,315	3,604,993	△ 47,678

<消費収支計算書>
2008年4月1日～2009年3月31日 (単位:千円)

消費収入の部			
科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,544,228	1,545,150	△ 922
手数料	26,551	24,990	1,561
寄付金	6,113	9,569	△ 3,456
補助金	151,305	172,499	△ 21,194
資産運用収入	4,849	6,609	△ 1,760
事業収入	24,179	25,194	△ 1,015
雑収入	134,871	133,980	891
帰属収入合計	1,892,096	1,917,991	△ 25,895
基本金組入額合計	△ 77,945	△ 75,236	△ 2,709
消費収入の部合計	1,814,151	1,842,755	△ 28,604
消費支出の部			
科 目	予算	決算	差異
人件費	1,184,421	1,182,324	2,097
教育研究経費	531,279	515,247	16,032
管理経費	160,157	155,952	4,205
借入金等利息	7,939	7,938	1
資産処分差額	640	1,173	△ 533
徴収不能引当金繰入額	10,105	10,313	△ 208
〔予備費〕	20,000		20,000
消費支出の部合計	1,914,541	1,872,947	41,594
当年度消費支出超過額	100,390	30,192	
前年度繰越消費支出超過額	2,787,323	2,787,323	
翌年度繰越消費支出超過額	2,887,713	2,817,515	

理事会報告

2009(平成21)年度予算編成基本方針・収支予算書

【平成21年度予算編成基本方針】(平成20年9月26日理事会決定)

1. 学園創立40周年記念事業の取り組み
 - ・旧学舎の耐震診断、補強工事のための予算編成
 - ・学園史の編成および出版に関する経費計上
 - ・記念寄付金(教育環境施設充実のための)募集計画の策定
2. 学生募集活動の強化、効果的広報活動の展開
3. 新たな教育内容、教育体制など、教育改革を目指した研究の推進
4. 地域連携、社会貢献、文化諸事業のさらなる展開
5. 教職員の能力・意欲を評価する制度、給与制度の改善に向けた検討
6. 科学研究費、教育GP(Good Practice)など、外部資金の獲得を目指す積極的取り組み
7. 省エネ対策など、経費削減を目指した具体的対策の推進

【2009(平成21)年度 資金収支予算書】(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科 目	予算	科 目	予算
学生生徒等納付金収入	1,479,650	人件費支出	1,084,446
手数料収入	23,242	教育研究経費支出	294,946
寄付金収入	5,000	管理経費支出	151,662
補助金収入	169,052	借入金等利息支出	7,191
資産運用収入	5,295	借入金等返済支出	46,656
事業収入	18,700	施設関係支出	14,600
雑収入	61,906	設備関係支出	14,811
前受金収入	571,200	その他の支出	48,882
その他の収入	146,971	〔予備費〕	10,000
資金収入調整勘定	△ 645,706	資金支出調整勘定	△ 44,515
前年度繰越支払資金	1,768,340	次年度繰越支払資金	1,974,971
収入の部合計	3,603,650	支出の部合計	3,603,650

【2009(平成21)年度 消費収支予算書】(単位:千円)

消費収入の部		支出の部	
科 目	予算	科 目	予算
学生生徒等納付金	1,479,650	人件費	1,074,243
手数料	23,242	教育研究経費	490,695
寄付金	6,000	管理経費	160,937
補助金	169,052	借入金等利息	7,191
資産運用収入	5,295	資産処分差額	0
事業収入	18,700	徴収不能引当金繰入額	10,105
雑収入	61,906		
帰属収入合計	1,763,845		
基本金組入額合計	△ 71,907	〔予備費〕	10,000
消費収入の部合計	1,691,938	消費支出の部合計	1,753,171

大学報告

2008年度進路概況

2008年9月、アメリカの大手証券会社の破綻に端を発した世界的な経済不況は、日本国内の経済にも大打撃を与えています。景気対策・雇用問題など厳しい情勢の中、企業の雇用情勢は経済の悪化により大変厳しい状況です。

日本の企業もリストラや内定の取り消し、非正規雇用者の契約切り(派遣切り)など様々な情勢が続いています。そのような状況下での就職活動は、困難の極みに立たされており、年々早まる採用試験は、書類選考、面接試験に加えクリエイティブ系の企業では、ポートフォリオを重視し、個人の完成度を把握する傾向が目立ってきています。

2008年度の就職の状況は、卒業者数に対する就職希望者の比率が60.0%、就職希望者に対する就職者数の比率は63.9%でした。求人企業数は増加傾向にありますが、業績が好調なゲーム業界等を除き実質求人数は減少しています。また、

社会福祉事業や介護支援業界等の求人数は増加しており、高齢化社会の影響が浮き彫りになってきています。

大 学	人数(人)	比率
2008年度 卒業者数	158	
就職決定者数	69	43.7%
就職未定(活動を継続する意思のある者)	23	14.6%
進学(大学院・四大編入学・研究機関等)	3	1.9%
本学大学院	6	3.8%
専門学校	6	3.8%
各種受験準備(公務員・教員・資格等)	2	1.3%
アルバイト	21	13.3%
家事手伝	3	1.9%
制作活動または弟子入り	14	8.9%
就職しない(「就職見込みあり」を含む)		
不明(最終「進路調査書」の提出なし)	11	7.0%

短期大学	人数(人)	比率
2008年度 卒業者数	225	
就職決定者数	78	34.7%
就職未定(活動を継続する意思のある者)	31	13.8%
進学(四大編入学・専攻科・研究機関等)	1	0.4%
本学四大編入・専攻科	35	15.6%
専門学校	8	3.6%
各種受験準備(公務員・教員・資格等)		
アルバイト	35	15.6%
家事手伝	3	1.3%
制作活動または弟子入り	18	8.0%
本学研究生(専攻科のみ対象)	4	1.8%
就職しない(「就職見込みあり」を含む)	1	0.4%
不明(最終「進路調査書」の提出なし)	11	4.9%

※進路内訳数(人)÷卒業生数=比率(%)

入学宣誓式報告

本学の2009(平成21)年度入学宣誓式を4月2日(木)に挙行いたしました。黒髪理事長、三好学長から式辞があり、高家教育後援会長から祝辞をいただきました。在学生から学友会会長の堀尾瞳さんによる歓迎のことは、新入生を代表し、短期大学部の溝手絵美子さんによる新入生宣誓が行われ、会場は初々しい空気に包まれました。なお、本年度の入学生は以下の通りです。

○京都嵯峨芸術大学大学院
芸術研究科 7名

○京都嵯峨芸術大学芸術学部
造形学科 70名
メディアデザイン学科 61名
観光デザイン学科 26名
小計 157名

○京都嵯峨芸術大学短期大学部
専攻科 18名
美術学科 153名
小計 171名

合計 335名

オープンキャンパス情報

2009年のオープンキャンパスは、6月21日(日)をはじまりに、7月31日(金)、8月1日(土)、8月2日(日)、9月27日(日)の計5回開催します。毎年、オープンキャンパスの来場者が受験する率は高く、受験生との重要な接触の機会として、今年もたくさんの来場を図っていきます。



昨年のオープンキャンパス風景

入試説明会シーズン到来

今年も全国各地で4芸大主催(京都嵯峨芸術大学・京都精華大学・京都造形大学・成安造形大学)やコンソーシアム京都主催、高校内・美術研究所内説明会などを合わせ、100を超える大学入試説明会を実施します。説明会では、入試課スタッフを中心に本学の特色についての説明や今年度の入試の変更点、カリキュラム内容や学生生活、就職などの広範囲な質問に対応していきます。



大学説明会風景



大覚寺オリエンテーション

本学では毎年、新入生に対して、授業カリキュラムや図書館などの施設利用方法、さらには奨学金の説明会や健康診断など、新生活を迎えるにあたってのオリエンテーションを行っています。その一環行事として、4月6日(月)に本学の設置母体である大覚寺にてオリエンテーションが行われました。新入生は境内にある「御影堂(みえどう)」に集合、大本山大覚寺の宗務総長でもある黒髪寛延理事長よりお話がありました。その後は、映画やテレビドラマの撮影場所としてよく登場する大沢池のほとりを散策、境内の文化財にも触れる貴重な機会となりました。



2010年度大学案内発行

2010年度大学案内が完成しました。今回の大学案内は学生の制作風景を数ヶ月にわたって撮影したドキュメント写真を中心に構成し、学生が真摯に作品制作と対峙している姿を“つくり手の風景”としてまとめ、本学の、ありのままの正直な姿を感じていただけるように工夫しました。さらに今回の大学案内は表紙と裏表紙のデザインがそれぞれ4パターンあり、全国の大学説明会場や本学オープンキャンパスに来場してくれた方には、好みにあわせ自分のお気に入りの大学案内を配布できるようにしました。



2010年度 京都嵯峨芸術大学 大学案内表紙

TOPICS

教員・在学生の活躍

本学観光デザイン学科の学生がNHKグッズコンペで優秀賞を受賞

NHK京都放送局が展開する春の新入生応援キャンペーンで、京都の全大学・専門学校に配られる広報ツールとしてクリアファイルをデザインする「NHK京都放送局クリアファイルデザインコンペ」に、本学観光デザイン学科3年生ビジュアルデザインゼミの学生が参加。同ゼミの刀禰あおい(とねあおい)さんが優秀賞を受賞し、影山恵さん、菊池瑞穂さんと共に採用作品となりました。制作やプレゼンテーションの様子等は同放送局より取材・放送され、4月7日(火)に本学でも新入生をはじめ、在学生にファイルが配布されました。今回採用されたグッズは、本学の他に京都の全大学・専門学校に配られました。



本学教員のテレビ番組出演

テレビ東京の番組「美の巨人たち」(毎週土曜日22:00~22:30放送)に、本学の佐々木正子教授が出演されました。円山応挙の「大乘寺障壁画」をテーマとした回で、3月7日(土)に放送されました。

また、テレビ神奈川の番組「佐藤しのぶ 出逢いのハーモニー」(5月4日(月)21:00~21:30放送回)に、本学客員教授の藤川桂介先生が出演されました。アニメーションに関する話題で進行、子供の日に向けてのトーク内容で、関西ではサンテレビで5月12日(火)18:00~18:30に、KBS京都で5月13日(水)21:25~21:55に放送されました。

インフォメーション

附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール予定

<附属博物館>

●『京都嵯峨芸術大学の先人達 第2回 奥村厚一 素描展』
2009年6月20日(土)~8月2日(日)
10:00~17:00

月曜休館(但7月20日(月・祝)は開館、翌日閉館)

※前後期で展示替えがあります。前期:6月20日(土)~7月12日(日)、後期:7月14日(火)~8月2日(日) (主催:京都嵯峨芸術大学)

2011年に京都嵯峨芸術大学が開学40周年を迎えるにあたり、前身である嵯峨美術短期大学で教鞭をとられ、大学の礎を築かれた先生方の功績をたどる展覧会の第2回目です。今年度は、日本画家の故奥村厚一先生の素描を中心とした展覧会を開催します。本学にご寄贈いただいた素描10点に加え、京都市立芸術大学所蔵の素描

博物館・ギャラリー報告

博物館・ギャラリー企画展報告

新年度を迎え、新入生のみならず多くの学生、地域の方々に大学収蔵品を観ていただきたく、4月に「京都嵯峨芸術大学収蔵品 雛と京の玩具」「京都嵯峨芸術大学 コレクションギャラリー2009 ~2007-2008新収蔵品を中心に~」の2件を、附属博物館と附属ギャラリーで開催しました。

博物館では、故浅見素石先生、故林司馬先生と本学に縁のある先生からご寄贈いただいた郷土玩具の中から、郷土色溢れた各地の雛人形と、京

都市内の郷土玩具を展示しました。学外からも沢山のお客様にご来館いただき、昨年度同時期の郷土玩具展と比べ、一般入館者数は3倍(1日平均)を数えました。

ギャラリーでは、2007年度から2008年度に新しく寄贈いただいた作品の中から、本学をご退官された先生方の作品と、加えて、収蔵品の中から版画と故川端彌之助先生の作品を展示しました。先生方の作品に懐かしさを覚える学生もいれば、新鮮に写った学生もいたのではないのでしょうか。こちらの入館者は約66%が学生、教職員でした。

今回いただいたお声や改善点を生かし、今後の展覧会にいかしていきたいと思っています。

33点、奥村先生の教え子でもある本学造形学科日本画分野元教授・林潤一先生所蔵の素描他4点をお借りし、前後期に分けて展示します。

<附属ギャラリー アートスペース嵯峨>

●『日本観光ポスターコンクール』入賞作品展

2009年6月4日(木)~6月17日(水)
10:00~18:00(最終日は14:00まで)6月7日(日)、6月14日(日)休館

(主催:京都嵯峨芸術大学/後援:日本観光研究学会関西支部/ポスター提供協力:社団法人日本観光協会/問い合わせ先:「日本観光ポスターコンクール」入賞作品展・記念シンポジウム事務局 担当:真板 昭夫 E-mail: 04984-maita@kyoto-saga.ac.jp)

「日本観光ポスターコンクール」で、2008、2009年度に入賞した作品のなかから約50点を展示します。※関連記念シンポジウムを6月13日(土)14:00~18:30有響館にて開催します。

●『Re:現代美術を再制作せよ(仮称)』
2009年7月1日(水)~7月10日(金)
13:00~18:00(7月5日(日)のみ10:00~18:00) 無休 (主催:メディアデザイ

ン学科研究室 TEL:075-864-7877) 短大ミクストメディア、四大メディアアートの両領域学生が共同で制作した、「20世紀以降に制作された美術作品から1点を選び、その作品を現在の自分の視点から再考察、再制作を行なう」の課題制作を展示します。

●『日本画作品展 造形学科日本画制作室』
2009年7月14日(火)~7月20日(月・祝)
10:00~18:00 無休 (主催:造形学科日本画研究室 TEL:075-864-7881)
造形学科日本画分野3、4年生の、2009年度前期授業での制作作品約30点を展示します。

●『日本画作品展 Summer Works'09』
2009年9月30日(水)~10月9日(金)
13:00~18:00(最終日は15:00迄) 無休 (主催:造形学科油画研究室 TEL:075-864-7882)
造形学科油画分野3、4年生による夏季課題作品を展示します。

○お問い合わせは博物館・ギャラリー課まで
TEL:075-864-7898
FAX:075-882-7770
E-mail:museum@kyoto-saga.ac.jp